

ひまわり通信

2023.1.31 発行

NO.43

<はっぴいウイング>

12/23 (金) の午前中はクリスマスケーキ作りを行い、皆で自由にトッピングを楽しみました。ランチは「口カボア」さんのテイクアウトを美味しくいただき、午後からは副施設長のショータイム!! 大いに盛り上がったクリスマス会でした。



メリークリスマス



チャレンジ班のパティシエ



美味しいデス



プレゼントだよ

各施設でクリスマス気分を満喫しました♪

<すてっぴ>

12/24 (土) にクリスマス会を行いました。前の週から手作りしていたコットンボールや折紙、風船などで飾りつけを行い、食堂はクリスマスムード一色に。お楽しみランチは丸鳥のローストチキンきのこのソース添え、ナポリタンなど、利用者の皆さんが笑顔になるメニューが勢ぞろい! クリスマスイブを皆で楽しみました。



美味しそう～



素敵でしょ?



最高です♪



折紙で作ったよ♪

風船がいっぱい!



ケーキの配達メンバーです♪



サンタとトナカイがやってきた!

<ひまわり園>

12/21 (水) ~ 24 (土) はクリスマスケーキ作りと販売、そして配達に大忙し!! 他の施設のようにクリスマス会は出来ませんが、ひまわり園のケーキを買っていただいたお客様のために、皆で力を合わせ、年に一度の繁忙期を乗り切りました。



コロナの影響の中での 事業の展望を

理事長 小澤 彰

二〇二三年を迎えました。今年もよろしくお願いいたします。さて、「コロナの影響で・・・」と言うことを憚られるように、その影響はあまりに日常的になってしまいました。

その中でも、全国の障がい福祉事業所が参加し、ひまわり会も加盟する「きょうされん」の全国大会が、皆さんのご援助もいただきながら成功裏に開催できたことは本当にありがたいことでした。

大会の事務局を担ったひまわり会は開催そのものを心配しながら準備いたしました。開催地の陸前高田市ご当局、地元を中心とした四〇〇〇人のボランティア・関係者の皆さんの多大なるご支援、さらに一、四〇〇〇人の皆さんの参加を得て開催でき、ほっとしております。

ひまわり会としても、今まで以上に地元の方々との結びつきを強めて、地域に貢献できる法人を目指していく必要性を感じさせられました。

ところで、ひまわり会もコロナの影響を大きく受けました。感染者や濃厚接触者の発生のため、2週間も休まなければならぬ事業所も出ました。ある程度は対応の準備はしていたものの、実際起きるとその対応は非常に難しいものがありました。通所の事業所は休んでも、グループホームは休むわけにはいきません。陽性になった利用者さんを二四時間職員がお世話することになります。感染防止策をとりながら支援する必要があります。

今、法人の事業継続計画の策定の必要性が叫ばれており、ひまわり会も着手に取り掛かります。事業継続計画とは、コロナの感染拡大や大規模な災害で、法人事業所が大きな影響を受けた場合を想定し、どうすれば事業を継続することができるか、事前に計画を立てておくことです。難しい問題を多くはらんでいます。備えあれば・・・の言葉通り、策定が必要で。

その計画には、自分たちの法人だけでなく、他の法人事業所が災害などに見舞われたときに、お互いに助け合う内容も含まれています。

明るい話題が少ない昨今ですが、法人事業の継続と新たな展望の開ける法人を目指して取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご協力を本年もよろしくお願いいたします。



みんなちがって みんないい

後援会長 高橋 光 夫

明けましておめでとございませう。皆様にはご家族と一緒に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年はどうなるのかと思いつながら、元日朝に配達された新聞を見おりました。

おっ！・・・目に留まったのは岩手日報紙の一面トップ記事。

「プロローグ・・・最強のまなざし・・・人間の無限の可能性」との大見出しで紹介されたのは、「るんびにい美術館」(花巻市)のアーティスト佐々木早苗さんとその作品。早苗さんは知的障がいのあるアーティスト。るんびにい美術館を拠点に創作活動に励んでおられます。大胆かつ微細な作風で知られ、その作品は盛岡市の(株)ヘラルボニーが衣料品や雑貨、家具などに商品化し全国にファンが急増中・・・との紹介でした。

記者は問いかけます。「ここで提案したい。『障がい者アート』という表現はもうやめよう。対義語として『健常者アート』とは言わないし、『障がい者』とひとくくりにもできない。これは『ボーダーレスアート』だ」と。年始のトップ記事ともなれば、その年の景気や社会情勢などが語られるのが通例とばかり思っていた私は、「こんな記事はこれまでなかった！すごいことだ！」と紙面に引き込まれました。

早苗さんとともに紹介されたヘラルボニー。それを立ち上げた双子の松田兄弟は、昨年十月発行の「異彩を、放て・・・ヘラルボニーが福祉×アートの世界を変える」との著書の中で、起業の決意を次のように語っています。「僕らの4つ上の兄・翔太は、重度の知的障がいを伴う自閉症と診断されている。『かわいそう』と見られ、蔑まれることもあった。なぜ、『ふつうじゃない』ことを馬鹿にされなければいけないのか。僕らは、世の中に存在するそういう偏見や先入観を変えるため、『ヘラルボニー』という会社をはじめた・・・と。その先に見据えるのは、障がいがあっても、ありのままにいられて、当たり前に見据えられる世界。障がいがあっても、ありのままに世界をつくる」と著してあります。

二人はいま盛岡を拠点に、全国に飛び回っているとのこと。やがて世界へと向かって行くことでしょう。百年も前に、金子みすゞが「みんなちがって みんないい」との詩を発表しました。

私はこの詩を岩手日報紙に重ねました。ヘラルボニーの活動に重ねました。そして、アートの世界のみならず「世の、障がいに対する意識が大きく変わる！」「障がいの有無を超えて共生するボーダーレス社会づくりが大きく進む！」・・・年の初めにその幕が開けられたとの思いを強く持ちました。(文中、岩手日報紙記事及び著書「異彩を、放て」からの引用があります)



「きょうされん第45回全国大会in東北・いわて」を終えて

実行委員会事務局長 栗田 誠

きょうされん全国大会を9月30日、10月1日の2日間、岩手県陸前高田市で開催しました。きょうされん全国大会は、ともに学び合い、交流し、つながり確かめ合うことを通して、心ひとつに明日へのエネルギーを培う場です。大会当日は全国から300人の障がいのある仲間を含む1,400人に参加していただきました。400人の地元のボランティアとともに、北は北海道、南は沖縄からの参加者を迎えました。

45回を数えるきょうされん全国大会ですが、今回初めて実行委員長に自治体首長（陸前高田市長）を迎え、陸前高田市の全面的な支援のもと、ひまわり会で大会事務局を担わせていただきました。一日中マスクをつけた生活、消毒や検温の繰り返し、黙食や行動制限など、大きな変化と負担を余儀なくされた3年間でしたが、この大会を通じて、一同に「集う」ことの大切さを、あらためて実感した方も多かったはず。相対して意見を伝えること、思いを伝えることがこんなに尊いことだとは思いませんでした。

この大会を応援していただいた皆さまに心よりお礼と感謝を申し上げます。



あすなるホームとすてっぶ



たかたのゆめちゃんとすてっぶメンバー



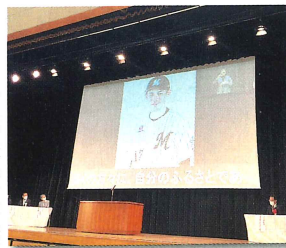
あんべ光俊さんと



きょうされん理事長 齋藤なを子様



いらっしゃいませ～



あの佐々木朗希選手から祝電が!!



家族で参加



分科会の表現活動



陸前高田の伝統芸能「気仙町けんか七太鼓」



「ミスさんさ♡」と「ミス太鼓♡」



ひまわり会
スナッフ
写真集
~1年を振り返って~



可愛いでしょ?



バランスが大事!



いくよ~



ハッピーバースデー



リフレッシュ教室のお兄さんです



体操大好き



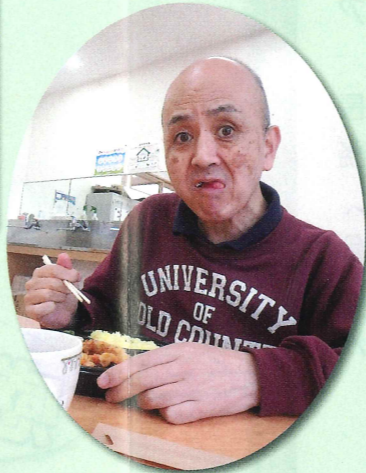
お弁当欲しいの?



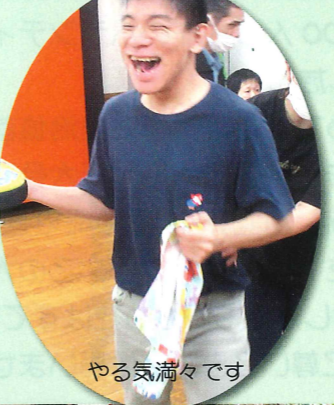
いい感じ♪



いい顔!



うまい!



やる気満々です



楽しい~



完成~



いい笑顔♪



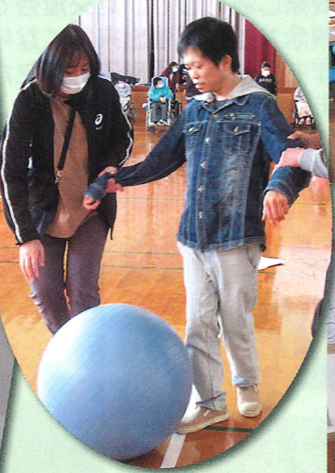
お散歩中だよ



ステージでも活躍!



僕の絵が入賞したよ!



がんばって!



サンタクロースがいっぱい!



七夕飾りに願いを込めて...



割と気に入っています



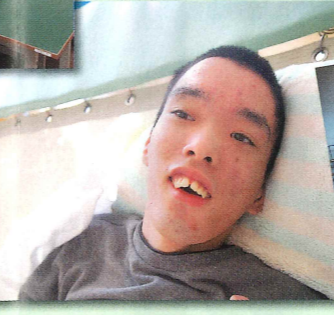
大根イエイ♪



こんな感じかな?



行くよ~



トランポリン楽しい



全国大会のスタッフとして



創作活動に夢中



早く転がれ~



フワッアップト焼いています



チームすてっぴ



みんなで力を合わせて!



私は誰でしょう?



息を合わせてね



一度やってみたらいいの!

すてっぷ

～カレンダーを作りました～



すごい集中力!

11/5(土)にオリジナルカレンダー制作を行いました。今年度の写真の中から、利用者さんそれぞれに気に入った写真を1枚選び、その写真をベースに絵を描いたり、折り紙で飾り付けをしたり思い思いのデコレートでオリジナルのカレンダーが完成しました。出来上がったカレンダーを見せ合いながら、迎える新年に思いをはせる楽しいひと時を過ごしました。



最高のカレンダーが出来ました♪



見て!素敵でしょ?



真剣な表情です!



僕のも見てください



～新年会はスペシャルなおやつを作りました～

チャレンジ班では1/18(水)に新年会を行いました。午前中に白玉だんごを作り、昼食は「サバービア」さんのテイクアウトお弁当をいただきました。午後は作っておいた白玉だんごをトッピングし、和風パフエが完成!おやつを食べている途中に、サプライズゲストのきらめき班「獅子舞い」が登場し、大盛り上がりでした。皆さん笑顔の新年らしい楽しい時間を過ごしました。



どこから食べようかな?



美味すぎる〜♡



これからおやつ作りです!



きゃあ〜(^^)



うわっうまい!

各施設の一押し商品を紹介します。



おうちゅう OSHUパンフェス

開催決定!!

日時：令和5年3月4日(土)
午前10時～午後4時
会場：水沢グランドホテル2階
モーガンホール
(奥州市水沢東町40)
主催：水沢駅通り商店街振興組合

ひまわり園も
出店します!



奥州市の美味しいパン屋さんが大集合!! パンフェス限定品も販売予定とのこと。個性あふれるパンの数々にパン好きならずとも、魅了されること必至! ぜひ、たくさん

の方に足を運んでいただき、地元のパン・菓子を味わっていただきたいと思います。

工房ひまわり

♥いちごレアチーズ♥

3月から販売予定!



1,800円(税込)

工房ひまわりの人気シリーズ「レアチーズ」のいちごバージョンが今年も期間限定で登場します。苺のフロマージュの上に、さらに苺を贅沢に使用したつぶつぶゼリーの2層仕立て! 甘くてジューシーな苺をたっぷりご堪能ください♡

編集

後記

昨年と言えばやはり「FIFAワールドカップカタール2022」の記憶が今でも鮮明に残っています。久しぶりに日本全国で盛り上がる明るい話題となりました。また、地元では「大谷翔平選手」に加えて「佐々木朗希選手」も大活躍! 「岩手県って実はすごいんじゃない?」とちょっと自慢したくなるのは私だけではないはずです。そんな明るい話題の中でもコロナウイルスはまだ存在感を無くしていません。ひまわり会でも何度かコロナによる苦境を乗り越えています。しかし、皆で力を合わせて乗り切った経験が、むしろ今後に生かされる「力」になることは間違いありません。「七転び八起き」とよく言いますが、転んでもただでは起きない「ひまわり会」に後援会の皆様からの応援を今年もよろしくお祈りします。

すてっぷ

～「Studio STEP」～

裂き織りの紹介です

裂き織りは布を裂いて紐状にしたものを丁寧に織っていくので、同じ物は作れないオンリーワン商品です。コースターや小銭入れ(250円～)、ポーチ(1000円～)などは、イオン桜屋敷店、薬師堂温泉の売店でも販売しており、オンラインショップ「BASE」でも好評販売中です。世界に一つだけの商品は贈り物にも最適! ぜひ一度ご覧ください。

ショルダー
バッグ



ポーチ



ペンケース



《給食だより》

～毎年恒例!!

「おせち給食」～

丹波の黒豆や数の子、伊達巻など縁起物の定番おせちに、今年は合鴨のバストラミや北海道産の焼ほたて、カレイ柚庵焼を取り入れました。更に釜飯とお吸い物もあり、華やかなおせちは目でも楽しめて、とても美味しかったと味も大好評でした。



一年で1番豪華な給食!